

勉強会

世界のエイズと現状

~ Universal Precaution ~

大阪府下でも感染者465人

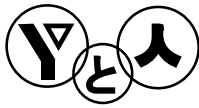
今、全世界で約4200万人、日本全体では6337人。大阪府下でも465人(2004年3月末)のHIV感染者が確認されています。特に若者にHIV感染者が急増しています。そのような現状を踏まえ、11月27日(土)、大阪市派遣エイズカウンセラーの榎本てる子さんを講師に、エイズの勉強会を高槻市子ども教室(教育委員会社会教育課)との共催で実施いたしました。

勉強会は、ワークシヨップ形式で進められ、私たちが持っているエイズに対する意識を明らかにし、もし自分が感染者であつたら、自分の隣人に感染者がいたらどう対応するのかといった視点でグループディスカッションが行われました。

「Harm Reduction」直訳すると害を削減・縮小するといった意味ですが、安全に行う方法を提示し、感染しないようにするという考え方。そのことにより、オーストラリアでは感染を未然に防いでいるとの事です。

「Universal Precaution」すべての人は何らかのウイルスに感染している可能性がある。だから誰に対しても同じように考え方を学びました。すべてに共通している事は、一人ひとりの人権をいかに尊重し、エイズの問題を考えたのが大切であるというメッセージがありました。

未来を築くことも私たちを守るために、世界の中から偏見と差別をなくすために、身近な問題として今後学びを継続していきます。(中村 隆・高槻YMCAスタッフ)



9月中旬から3ヶ月間、大阪府の助成を受け大阪YMCAで研修を受けている、ミヤンマー・マンダレーYMCAスタッフのステ・スエ・マーさんにお話を伺いました。

マンダレーYMCAでは、6つの幼稚園のディレクターとして活躍されています。「日常の保育やマネージメントなどを通して、ミヤンマーの子どもたちのために働くことを勉強したい」と思っていました。そして、栄養学ならミヤンマーで役立つと考えました。「ミヤンマーでは、貧困や知識の不足が原因で栄養不良や病気に苦しむ子どもたちが

す。「勉強をする中で、日本とミヤンマーの違いを感じる事が多いです。日本で得た知識はそのままの形ではミヤンマー



ステ・スエ・マーさん



「学校で絵本を作りました」
ミヤンマーの幼稚園で給食を制度化する夢を持っています

ミヤンマーとは違う部分が多くあるので、現地ではどう使えるかをいつも考えながら勉強しています。帰国後は、日本で得

た知識をマンダレーYMCAの幼稚園の先生たちと共有し、一緒に新しいものを創っていききたい」とスエさんはおっしゃいます。

ボランティアーとしてYMCAの活動に関わり始めたのが20年前。現在は、幼稚園を取りまとめる他、日本からのスタディーツアーを受け入れる担当も兼任し、忙しい毎日を送っています。そのスエさんの原動力は、なんと大阪YMCAだそうです。「2年前のスタ

見と差別をなくすために、身近な問題として今後学びを継続していきます。(中村 隆・高槻YMCAスタッフ)

障がい者作品展 壮観、力作が一堂に

堺YMCA他関係団体共催

今年の障がい者作品展は、11月25日(木)から12月5日(日)まで堺市総合福祉会館で行われ、延べ1000人の鑑賞者が訪れました。中学

校養護学級や養護学校の生徒の皆さんの作品から、授産所や作業所そして高齢者の方々の教室など堺市内の障がい者のみなさんの力作が一堂に並び様は壮観です。

この作品展は、1981年(昭和56年)当時堺YMCA館長であった故羽田野 彊さんが始められましたもので、堺YMCAが主催



し堺市と堺3ロータリークラブ、堺・大阪長野・サザンスカイ・大阪泉北の4つのワイズメンズクラブが共催となり、堺市教育委員会・堺市商工会議所、堺市社会福祉協議会ははじめ、堺市のほとんどが後援をします。

あらゆるジャンルから芸術的にも相当レベルの高い作品もあり、観る方はもちろん出品される方も毎年この作品展にあわせ、一生懸命制作に当られ、今や堺市の一大風物展となっています。堺YMCAスタッフと、実行委員会がほとんど準備をします。堺YMCAに繋がる4つのワイズメンズクラブの協力があって、4半世紀に亘りこの作品展が継続されています。今後この作品展がますます発展することを祈っています。(松野五郎・堺YMCA運営委員)

協力会員

(北) 岡村勇輝/土井美穂/柳川朋美(徳島) 嶋本枝理/松崎啓明(六甲山) 城 純一/鈴木良洋

新規会員

藤岡宏樹 (二〇〇四年十一月二十日現在)

継続会員

(土佐堀) 生地義治(南) 上村真奈(北) 池田雪子/北島千聖/杉山 勇(堺) 井上史子/藤原弘義/吉積陽子(枚方) 藤田義夫(徳島) 加計純子/齊藤佳代子(東) 田中 弘 (二〇〇四年十一月二十日現在)

「ご寄付

西ワイズメンズクラブの島平雅生さん、成瀬康夫さんから土佐堀YMCAリーダー会に未来に向けての活動費の一部として、20万円のご寄付をいただきました。感謝をもってご報告させていただきます。

継続賛助会社

三洋電機(株)

編集後記

職場の前に植わっているポプラの木がともきれいに色づいている。でも普通なら葉を落としている時期である。暦では冬だが、夏日さえ記録している今年の冬、「異常気象」という言葉にも慣れちゃった。(瑞)